

とを示すことは出来るが、我々が考へるべきことを教へる權利はない。これら同一誤謬の二形態の間に動搖を無限に續けることを欲しない限り、我々はトーマスのとつた中庸道、妥協のそれではなくして、二つの誤謬の間の苦しい眞理の道を選ばなければならぬ。我々は、如何なる種類の個人主義にも陥つてはならない。我々は、個人として、全體の部分であり、全體の共通利益はその部分的私利に優るから。又他方、必ずしも「睿智」として作用しない新しい「離存實體」なる「國家」は、我々の各には國家よりも尙ほ高い或るもの、神以外にはそれに優るもののないもの、即ち人格があるといふことを忘れてはならない。これらの常に時機に適する諸原理を完全に述べた人は、單に精神の世界に於ける師であるに止らない。彼は永久に、總ての反對力に抗して、精神の優越を説くことを使命とする師である。(一九三五年二月十三日ブリティッシュ・アカデミに於ける講演、同會報第二十一卷より抄譯 服部英次郎)

卒業論文題目

京都帝國大學文學部哲學科(昭和十一年一月提出)

哲學專攻

能力・自由・觀想——主としてアリストテレスを媒介とする

實踐の解明——

表現に於ける理解と行爲

カントに於ける道德的價值判斷とその原理

先驗的構想力の構造

歴史の地盤としての生

現象學的意識の構造

カントに於ける觸發に就いて

ヘーゲルの人倫態——人倫態の哲學——

祈り

行爲

個別的因果律に就いて

概念と自由——ヘーゲル哲學小察——

歴史に於ける發展の概念——主としてヘーゲルに就いて——

イエス・キリストの福音と文化の問題

人間の存在の理解

安藤 孝行

伊藤 太平

伊藤 恒夫

石井 武

今井富士雄

瀧澤 亨三

新谷賢太郎

多田 淳政

武内 義範

鶴橋 正雄

鍋島 弘

平下 欣一

松平 健

三鼓 豊藏

安井 勝道

西洋哲學史專攻

プラトンに於けるイデア論に就いて

須田道雄

印度哲學史專攻

數論說 (Sankhya-darśana) に於ける覺 (Buddhi) の形而上學的構造に就いて

石丸隆

支那哲學史專攻

支那古代の喪禮に就いて
支那古代の儒教と孝道

大久保 莊太郎
堤 正敏

心理學專攻

時間知覺上の空間效果
〔注意〕概念の史的展開 (統覺心理學より形態心理學に至る)

阿部孫四郎
小澤英幸

Propaganda (宣傳) の本質の心理學的研究

小松 彰

八度類似性に就いて

笹原邦彦

呪術の心理

鳥村忠雄

繼時比較判斷及び時間錯誤

世古口一夫

カール・ブネラー氏の形態知覺研究に就いて

多久和 興

自傳及び自傳的小説に表れたる青年心理

登丸福壽

機能心理學と形態心理學

中西昇

テイチナーの心理學に於ける發展、特に感覺概念を中心とせるボーリングへの展開

原次郎

不滅信仰の心理學的研究

平尾靖

就學前期に於ける兒童の内觀に就いての實驗的研究

守屋濤夫

倫理學專攻

悲願愛の世界
定言命法の倫理學

刈田喜一郎
黒田一郎

意志の自由と道德的行爲
法と道德

小村雷教
上 阪 潔

ニイチエの倫理學
パスカルの道德思想

田口健三
野村 稔

キェルケゴールに於ける「絶望」に就いて
王陽明の思想に關する倫理學的考察

久田和彦
保田 清

自由の意識に於ける自覺に就いて (宗教的自覺の素描)

山本正義

教育學教授法專攻

教育と時代精神—教育思想史序說—
教と學との問題

池 田 進
石原鐵雄

デュウイの道德教育思想
デュウイ教育學の立場

江尻保之助
榎 一治

フイヒテの教育思想の研究
ゲーテに於ける教育の宗教的基礎—「畏敬の念」を中心とせる一つの覺書—

永谷 孝治

教育學に於ける人間學的基礎

長谷山八郎

教育學に於ける人間學的基礎

藤井隆一

社會的教育學の基礎問題—ナトルプに於いて—

武藤俊一

社會發展の動的理論
輿論の考察

山田良太郎
島田博

教育の社會的相貌をみつめる

吉川武

佛教學專攻

熊谷隆男

美學美術史專攻

音樂に於ける「自然的なもの」に就いての史的考察

朝比奈隆

圓珍の教相論
善導に至る觀無量壽經諸疏に於ける佛身佛土思想の變遷

酒見鎮雄

純粹詩論

井上靖

成立過程よりみたる阿彌陀經の淨土教的地位
智者大師の身内證に於ける彌陀淨土觀に就いて

色井秀讓

柳宗悅の工藝論に就いて

今井善一郎

東谷實慶

創作と觀照

入澤博愛

ディルタイの想像力

倉島一生

日本洋畫史論

瀨木忠夫

ドイツ近代音樂

田邊彥太郎

文人畫に就いて

塚本定一郎

藝術の本質

戸倉嘉明

宗教學專攻

イデアリスムスの宗教哲學と基督教宗教

横山三郎

森本新三

社會學專攻

支配の研究

杉浦紀雄

社會的現實態の認識

政本義員

集團論

松本不二夫

原始的村落に就いての一考察

陸田新次郎

新 刊 書 目

- Augustinus : Fünfzehn Bücher über die Dreieinigkeit (De Trinitate). Aus d. Lat. übers. u. mit Einl. vers. v. M. Schmaus. Bd. 1. (Bibl. d. Kirchenväter. R. 2. Bd. 13) München: Kösel & Pustet. LXVI, 260 pp. M. 5.—
- Barth, K. u. Thurneysen, E. (Hrsg.): Theologische Existenz heute. Ht. 29: Barth, K.: Das Bekenntnis d. Reformation u. unser Bekennen. 38 pp. M. 0.70. Ht. 30: Kutter, H.: Die Stellung d. Kirche in d. Volksgemeinschaft. M. 0.60. Ht. 31: Asmussen, H.: Theologie u. Kirchenleitung (Johs. 15.3). 40 pp. M. 0.70. Ht. 32: Barth, K.: Evangelium u. Gesetz. 30 pp. M. 0.50. München: Kaiser.
- Barruzi, Jean: Problemes d'histoire des religions. (Nouv. Encyclopédie Philos.) Paris: Alcan. VIII, 152 pp. 10 fr.
- Baurch, Bruno: Grundzüge der Ethik. Stuttgart: Kohlhammer VIII, 327 pp. M. 13.50.
- Burkuch, K. (Hrsg.): Vom Mittelalter zur Reformation. Bd. 6, Tl. 4: Gebete d. Hofkanzlers u. d. Prager Kulturkreises, hserg. v. J. Klapper. Berl.: Weidmann. LXXX, 426 pp. M. 32.—
- Cicero: Correspondance. Tome 2. Texte établi et trad. par L. A. Constans. (Coll. Budé) Paris: Les Belles Lettres. 196 pp. 20 fr.
- Corte, Marcel de: Études d'histoire de la philosophie ancienne: Aristote et Plotin. (Bibl. fr. de Philos.) Paris. 291 pp. 20 fr.
- Espinus, A.: Des sociétés animales. Nouv. éd. (Bibl. de Philos. Contemp.) Paris: Alcan. 454 pp. 50 fr.
- Fauchés: Die Elemente (Stoikheia). Nach Heibergs Text aus d. Gr. übers. u. hserg. v. C. Thae. Tl. 3: Buch 7-9. (Ostwald's Klassiker d. exakt. Wiss. Nr. 240) Lpz.: Akad. Vlg'es. 80 pp. M. 3.60.
- Grote, A.: Über d. Funktion d. Copula. E. Untere. d. log. u. sprachl. Grundlagen d. Urteils. Lpz.: Meiner. 127 pp. M. 6.—
- (Heidegger) Fischer, A.: Die Existenzphilosophie Heideggers. Darlegg. u. Würdigg. i. Grundgedanken. Lpz.: Meiner. XV, 134 pp. M. 7.50.
- (Hügel) Nedoncelle, Maurice: La pensée religieuse de Friedrich v. Hügel (1852-1925). Paris: J. Vrin. 224 pp. 25 fr.
- (James) Perry, Ralph Barton: The thought and character of W. James; as revealed in unpublished correspondence

and notes, together with his published writing. In 2 vols. Boston: Little, Brown, & Co. XXXVIII, 826; XXII, 786 pp.

(Paracelsus) Sartorius v. Waltershausen, B.: Paracelsus an Eingang d. dt. Bildungsgeschichte. (Forsch. z. Gesch. d. Philos. u. d. Pädag. Hft. 16) Jpz.: Meiner, VII, 216 pp. M. 8.—

Parodi, D.: Enquête d'une philosophie. (Nouv. Encyclopédie Philos.) Paris: Alcan. 160 pp. 10 fr.

Peirce, Charles Sanders: Collected papers. Ed. by Charles Hartshorne & Paul Weiss. Vol. 6: Scientific metaphysics. Cambri. (Mass.): Harvard Univ. Press. X, 462 pp. \$ 5.00.

Plato: Oeuvres complètes. Tome 9; Pt. 1: Le Politique. Texte établi et trad. par A. Diès. (Coll. Budé) Paris: Les Belles Lettres. LXXV, 180 pp. 20 fr.

———Solovjev, Vladimir: Plato. Tr. fr. the Russian by Richard Gill with a note on Solovjev by Janko Lavrin. Lond.: Stanley Nott 83 pp. 5s.

Sternberg, Kurt: Das Problem d. Ursprungs in der Philosophie d. Altertums. Breslau: M. & H. Marcus. XIV, 490 pp. M. 28.—

寄贈圖書

西田幾多郎著 哲學論文集第一

武內 義雄著 諸子概説

東京 岩波書店
定價金貳圓參拾錢
京都 弘文堂書房
定價金壹圓五拾錢

寄贈雜誌

昭和十年十二月號 文學研究

昭和十一年一月號 哲學雜誌、文化、思想、理想、宗教研究、

經濟論叢、學校教育、信濃教育、奈良縣教育、社會學徒、唯物

論研究、哲學改造、湖畔の聲、願慧、世界文化、呂